

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「正しく、強く、美しく生きる」という精神を胸に、地域を担う人材を育成する学校 多様な個性を持つ仲間との体験的な学びを通して、地域の中で正しく、強く、美しく生きる力を身に付け、社会に貢献する高い志を持ち、よりよい社会の実現のために行動できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獲得した知識・技能や思考力・判断力を発揮して物事を多角的・俯瞰的に捉え、課題を見出せる生徒</li> <li>・他者と協働し、創造的に課題解決に挑み続けることができる生徒</li> <li>・自他を認め、社会に貢献する志を持ち、よりよい社会の実現のために行動できる生徒</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎から応用へと確かな学力を身に付ける</li> <li>・専門教科における実学・実習の重視による高い専門性</li> <li>・教科横断的・課題解決型の授業実践と学科間連携を通して多様な学びの保障</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神的自立・成長を図り、人間性豊かで、規範意識の涵養に努める人</li> <li>・継続定かつ意欲的に学習し、積極的に行動できる人</li> </ul>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>校訓「正大・剛毅・優美」を胸に、自己実現に向けて努力を重ねるとともに、身に付けた豊かな人間力で社会に貢献する高い志を持つ人を育てる。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>【成果】 ・コロナ禍において培った新たな視点や工夫を大切にしながらの学校行事の実施。「福島高校は生徒が伸び伸びと学ぶことができる学校である。」という地域からの評価。生徒の学校生活に取り組む意識の高揚。生徒が生き生きと活動する場の提供、並びに主体的に取り組むような様々な仕掛けによる生徒の成長。 【課題】 生徒募集に係るより効果的な広報活動の推進。普通科の特色や成果のアピール。学科間連携による、本校独自の教育活動の充実。生徒に確かな学力を付けさせ、進路希望を実現できる学校としての教育内容の充実。</p>	<p>「自ら考え、自ら判断し、チャレンジする」態度の育成及び他者と協働し課題解決に挑む態度の育成</p>	<p>良質かつ本質的な問いかけや個に応じた指導を通して、「自分には何ができるか」と主体的に考え、判断し、行動に移す態度、及び他者と協働し課題解決に挑む態度を全ての教育活動を通して育成する。</p>	
	<p>「生徒を主語にした学校づくりプロジェクト」を中心に据えた、より組織的な教育活動の充実</p>	<p>生徒に基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、教員は個別最適な学び、協働的な学びにつながる授業を実践することにより、生徒の「思考力」「判断力」「表現力」の育成を図るとともに自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。授業と評価方法の改善により、指導と評価の一体化を図ることで、生徒の個性や能力を引き出し、生徒の第一希望進路の実現を目指す。</p>	
	<p>学科間連携の強化及び関係機関との連携強化による地域に開かれた学校づくり</p>	<p>学科間連携の学校設定教科・科目を充実させるとともに、学科の特徴や強みを生かした活動を有機的に連携させる。本校の特色ある教育活動を通して、生徒により広い世界を体験させるとともに、地域社会との連携強化を図り、地域に開かれた学校づくりを推進する。</p>	
	<p>生徒の人権意識の向上及び安心・安全な学校づくり</p>	<p>人権教育を推進することにより、生徒の人権意識を向上させ、違いを認め合い、自分自身と他者を大切にすることを心豊かな人間性を育む。ICTの積極的活用を通して、生徒理解や個別最適化された授業の実践及び業務の効率化を推進し、生徒と教員が心身ともに健康で安心して過ごせる学校づくりに努める。</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
<p>教育推進部 (教務課)</p>	<p>確かな学力の修得(基礎的・基本的な知識・技能の修得)</p>	<p>個別最適な学び、協働的な学びにつながる授業の実践を企画・研修課と連携して行う。 集中講座及び補習の内容を充実させ、知識・技能、技術の向上を図る。 学習時間調査(年4回)を実施し、自ら学ぶ姿勢を主体的に振り返らせる契機とする。</p>	<p>授業アンケート 受講希望調査 学習時間調査</p>	
	<p>本校独自の教育活動の充実</p>	<p>各科の特徴を生かして学科間連携教科・科目の充実を図る。 各教科が育成を目指す資質・能力を明確にし、評価方法を検討して適正な評価を行い、評価の妥当性、信頼性を高める。 観点別評価の改善により、授業と評価の一体化を図り、多様な資質を持つ生徒を多面的に評価する。</p>	<p>授業アンケート 授業アンケート 授業アンケート</p>	
	<p>生徒が主語(中心)になる「総合的な探究の時間」の授業づくり</p>	<p>単元毎に育成する力を明確にするとともに、指導体制を整備して、生徒自ら探究活動ができる環境づくりを設定する。 推進委員会を中心として「総合的な探究の時間」を円滑に運営する。(早めの計画立案、密な連絡調整) 自ら学びたい分野を選択し、地域の外部機関との連携を強化して、探究活動を充実させる。</p>	<p>授業アンケート 授業アンケート 受講希望調査</p>	
	<p>本校の魅力が伝わる組織的な広報活動</p>	<p>進路相談事業や体験入学において、生徒主体の魅力あるプレゼンを実施する。</p>	<p>体験入学アンケート</p>	
		<p>出前授業や学校説明会に積極的に出向き、本校の魅力を発信する。</p>	<p>出前授業アンケート 中学校説明会保護者アンケート</p>	
		<p>学校HP、SNS等の迅速な更新を行い、本校の魅力を伝えるとともに、本校教育活動への理解を図る。</p>		
<p>効果的な広報活動のための情報収集</p>	<p>広報活動の分析を行い、中学生や中学生保護者に向けた広報活動を積極的に行う。</p>			
	<p>新入生アンケートや2、3年生向けの満足度アンケートを行い、広報活動の改善に生かす。</p>	<p>新入生アンケート 学校生活満足度アンケート</p>		
	<p>中学校訪問を通して本校の魅力を発信しながら生徒の情報交換を行い、中学校との連携を図る。</p>			
<p>計画的で協働的な業務の遂行</p>	<p>分掌会を定期的開催し、全員が責任感を持ち、チームで業務に取り組む。</p>			
	<p>他の分掌と連携を図りながら業務を進め、学校全体で入試・広報活動を行う体制を整え、効果的なアピールを行う。</p>			
	<p>各行事のスケジュールを確認し、担当割や準備物の共有を計画的に行う。</p>			

キャリア教育部 (進路指導課)	キャリア教育の更なる充実による「夢を描き努力し続ける生徒」の育成	進路講演会や進路ガイダンス、上級学校・企業訪問、卒業生講話等を充実させ、進路意識の向上を図る。			
		「Classi」を活用して学校行事や進路学習等の見通しと振り返りの場を設定し、進路や自己の生き方を考える一助とする。	「Classi」の記入内容		
		ボランティア活動及びインターンシップ等の体験活動並びに日頃の清掃活動を通して勤労感を涵養する。			
	第一志望の進路実現に向けた心構えの育成と資質能力の向上	小論文指導体制の強化とその指導の充実を図り、希望進路実現に必要な「読む力」「考える力」「書く力」を伸ばす。		進学率	
		3年生の希望者を対象とした放課後講座及び模試の実施・結果分析を通して、希望進路実現に必要な学力の向上を図る。		就職率	
		就職・公務員希望者を対象に、外部講師を招聘したガイダンスや特別講座、面接指導等を計画的に実施して、必要な能力を伸ばす。			
進路選択及びその実現をサポートする情報の収集と発信	「進路のしおり」の内容の充実を図り、進路選択やその実現に資する情報を早期に提供すると共に、進路指導へ有効に活用する。		進路希望調査		
	「進路だより」の発行や進路冊子の配布の配布等の進路委員を中心とした組織的な取組を通して、進路への関心を向上させる。				
	進路指導課会議を定期的開催し、情報を共有するとともに組織的な進路指導の更なる充実を図る。				
キャリア教育部 (企画・研修課)	生徒・教員の成長を促すとともに充実感をもたらす行事の実施	各行事を行うにあたり、教員側と生徒側の目的・目標を明確にすることで内容の質を高める。			
		各行事の計画を早期に立てるとともに急な変更等にも柔軟性を持って対応する。			
		他分掌・係と綿密に連携を取り、充実した行事となるよう取り組む。			
	授業改善及び図書館の有効的な活用	各教科でICTを活用した授業を行い、効果的な方法等については全職員で共有する。			
		校外・校内研修を積極的に授業改善に活用する。			
		教員・生徒の意見を取り入れ、図書館の有効的な活用方法を模索し、図書館の積極的な活用につなげる。		生徒へのアンケート	
「生徒を主語にした学校づくりプロジェクト」を活用した教育活動の充実	「生徒を主語にした学校づくりプロジェクト」に関する研修を実施する。				
	研究授業や授業アンケートを活用し、「生徒を主語にした学校づくりプロジェクト」の充実につなげる。		授業アンケート		
	校内・校外の効果的な実践等を、全職員で共有する。				
生徒育成部 (生徒指導課)	問題行動0・いじめの撲滅	いじめアンケートの実施と教育相談委員会等による情報の共有化を図る。		いじめアンケート・学校生活アンケート	
		規範意識育成の講習会実施及びDVD視聴等により正しい行動ができるように指導する。			
		SNSによるトラブルを未然に防ぐための講習会を実施する。			
	部活動・生徒会活動の活発化	顧問会議・研修等で顧問の意識を高めて、生徒の能力を最大限に発揮させる指導を行う。部活動生が学校の中心となるように部員の意識を高める指導を行う。			
		体育大会・福高祭の内容を検討し生徒が主体的に取り組むようにする。		生徒へのアンケート	
		リーダーの発掘と育成に力を入れ、体育大会・福高祭を充実させる。			
交通事故0・交通マナーの向上	登下校指導の実施し、交通マナーの意識を向上させ、交通事故0を目指す。				
	安全教育講習会やバイク実技講習会を実施し、安全に関する意識の向上を図る。				
生徒育成部 (健康管理課)	生徒及び職員の心身の健康の保持増進	各種健康診断を実施し、年度当初における生徒の身体状況の基礎的な把握を行う。		問診票等	
		学校・学年行事等に際して事前健康相談を実施し、生徒の心身状況を把握し報告する。		事前アンケート	
		コロナやインフルエンザ等の感染症に見通しをもって対応する。		健康観察表	
		保健だよりを月1回発行し、健康や事故防止に関する注意喚起を行う。		学校生活アンケート	
		性と心の相談事業(1年生対象に性の講演会)を実施する。		感想文	
	学校管理下での事故防止の徹底	生徒保健委員による救急法(含む熱中症対策)講演会を実施し、部活動や体育的行事における安全対策を充実させる。		事後アンケート	
		生徒美化委員会を中心に、校内美化と学習環境の整備を図る。		学校生活アンケート	
		防災避難訓練を充実させ、防災意識の向上を図る。		学校生活アンケート	
		学期に1回の校内安全点検を実施し、危険箇所を把握するとともに担当部署に連絡・働きかけを行う。		安全点検表	
		社会の変化に対応して危機管理マニュアルを継続的に見直し、職員への周知徹底を図り、危機管理体制を整える。		危機管理マニュアル	
	担任・学年・教育相談委員会の連携・協力体制の確立	様々な問題を抱えた生徒に対し、学校全体で支援等を検討するために『教育相談委員会』をSC来校に合わせ月1回開催する。		学校生活アンケート いじめアンケート	
生徒の保健室利用状況をクラス担任に毎日報告する。			応急処置連絡票		
3日連続欠席者に対して、実態に応じて担任・学年団により家庭訪問を実施するよう働きかける。					
SC・SSW・訪問相談員による相談事業を実施する。					
修学支援・特別支援コーディネーターによる業務を支援する。					

様式3

第1学年	基本的生活習慣の確立	明るく元気な挨拶をする、時間厳守(5分前行動)、遅刻厳禁、服装を整える、清掃を丁寧にする、提出物を期限内に提出する、などの当たり前前のをできるようにし、習慣化させる。	学校生活アンケート	
		当たり前前のをおろそかにせず、しっかりやる、を合言葉に学年団全員がこだわって生徒の指導を行う。		
	学習習慣の定着と基礎学力の向上	教室整備を行い、授業前の黙想に十分な間をとらせ、心を落ち着かせて授業に臨ませるなど、授業に集中できる環境や雰囲気を整える。	授業アンケート	
		各教科と連携して小テストや課題など家庭学習時間を増やす取り組みをし、基礎・基本的学習内容の習得を図る。	授業アンケート	
		学習時間の記録を毎日行わせ、家庭学習時間1日平均90分以上を目指す。	Classiに <input type="text"/>	
	進路目標の早期設定	生徒自らが情報収集できるように、方法等を指導する。	進路希望調査	
HRや面談週間・三者面談などを通して、生徒の進路目標の早期設定を促す。オープンキャンパスなどへの積極的な参加を促し、生徒の進路意識の向上を図る。		進路希望調査		
安心安全な学年、学級	価値観の違いを認め合い、互いの個性を尊重し合えるように教師自ら率先して行動するとともに、常に人権を意識した発言を行う。	学校生活アンケート いじめアンケート		
	アンケートや生徒の様子をしっかり観察するなどして、気になる生徒の教育相談を行うなど、いじめのない安全・安心な学年・学級づくりをする。いじめは絶対許さないというメッセージを教師が発する。	学校生活アンケート いじめアンケート		
学年団のチーム化と保護者との信頼関係の構築	学年会議を毎週行い、学年団の共通理解を図り、学年全体で生徒の支援・指導をしていく。			
	保護者の悩みや想いに共感し、連絡を密にして学校と家庭が同じ方向を見て生徒の指導にあたる。	保護者対象いじめアンケート		
第2学年	メリハリつけて、 当たり前前のを当たり前	挨拶する・時間を守る・約束を守る、の当たり前前のを教員が率先して行い、生徒に模範となって示し、生徒に実践させる。		
		遅刻・欠席・風紀違反の多い生徒に対して、学校や家庭での様子の連絡を密に行い、学年全体で協力して指導する。(違反者の減少、皆勤50名以上)		
		学年行事・学校行事を通して、リーダーの育成を行い、学校を支えていく集団にする。		
	学習時間の向上と学習習慣の定着、そして学力向上	担任・副担任指導の下で学習時間の記録、各授業担当者による適切な課題の設定、学年で課題一覧表の作成を行い、学力の向上に努める。	Classiに <input type="text"/>	
		教室整備・チャイム席・授業準備・課題提出の期限厳守を徹底し、学習に集中できる環境を整える。	学校生活アンケート	
	進路目標の設定、実現に向けて計画・実施	進路ガイダンス・上級学校訪問の実施、オープンキャンパスへの参加を通して、生徒に生きた情報を伝え、進路目標の契機とする。	振り返りアンケート 進路希望調査	
スタディーサポートや進研模試などの外部模試を利用し、生徒の学習状況を把握しながら、二者・三者面談の充実を図り、多様な進路目標の実現に繋げる。		マナビジョンに <input type="text"/>		
教員の意識改革と連携	学年教員団全員が、学年生徒の学習面・生活面の指導をするような意識を持ち、実践できるよう、的確なアドバイスや助け合いを行う。	授業アンケート		
	学校生活アンケートやいじめアンケートなどを通して、気になる生徒の教育相談を行うなど、いじめのない安全・安心な学年・学級づくりをする。	学校生活アンケート いじめアンケート		
第3学年	基本的生活習慣の確立と学力向上 落ち着いた学習環境づくり	挨拶の励行、時間の厳守、服装を整える、清掃をきちんとするなど基本的なことを徹底して指導する。	振り返りアンケート	
		授業の充実・家庭学習の充実に加え、各教科との連携を行い学力を向上させる。また、成績不振者の把握と指導を徹底する。	授業アンケート	
		教室環境の整美並びに毎時間の行動(チャイム席、授業準備、黙想等)をきちんと行わせる。	振り返りアンケート	
	生徒の進路実現 情報の分析と個に応じた進路指導	面談を活用し、進路学習やオープンキャンパスなどへの積極的な参加を促し、受験生としての意識を向上させる。	進路調査アンケート	
		最新の進路情報について教員自身が学び、適切な進路分析を行うことで、生徒に対して細かい情報を与え、進路実現への道筋の立て方を共に考える。	進路調査アンケート	
	生徒の居場所づくり 生徒の主体的活動を図る方策 集団と個の確立及び協働精神の育成	いじめアンケートや学校生活アンケートを活用し、「安心・安全な学校」づくりの実現を目指す。	いじめアンケート	
		生徒を学年行事の企画・運営に関わらせ、学校行事への積極的な活動に繋げさせる。主体的な活動を通して、生徒の連帯感や自立心を育成する。	振り返りアンケート	
	教師間・学年団及び保護者との連携強化	各科の特色を明確にするとともに、学年全体で取り組むべき内容については一緒にやり遂げる達成感・充実感を味わわせる。	振り返りアンケート	
学年団(特に担任団)でこまめに話をし、生徒の人間関係や進路希望について学年全体で把握をし、的確なアドバイスや助け合いを行う。				
	保護者と密に連絡を取り合い、生徒の出席状況、成績、学校での様子、家庭での様子等、相互に把握し、生徒の精神的安定や進路指導に繋げる。	保護者対象いじめアンケート		

様式3

総合ビジネス科	基礎学力の定着と論理的思考力を育成	生徒の希望進路実現の目標を明確にし、生徒の資質を伸ばす。	振り返りアンケート	
		全商の検定2・3級は、合格率90%を目指し。さらに高度な資格を目指し、社会に貢献できる資質を身に着ける。	授業アンケート	
		将来の進路目標を考え、自分自身でコースを選択する能力を身に着ける。またより高度な専門教科を学ぶ機会を設け、進路決定に役立てる。	社会人招聘事業アンケート	
	キャリア教育とビジネスで活躍する職業人育成	各学年に応じて進路目標の明確化を図り、体験活動やキャリア教育を推進し、生徒の勤労観・職業観を育成する。	授業アンケート	
		学科の行事を経験しながら、地域経済の発展に関心を持たせ、生徒自身も成長できる意識を育成する。	授業アンケート	
		キャリア教育をとおして、社会で活躍する人材を明確にし、未来の職業人として、また地域経済に関心を持つ生徒を育成する。	未来を切り拓く人材育成アンケート	
	地域社会との連携と広報活動の充実	各学年の学習活動や進路状況を「総合ビジネス科ニュース」情報発信する。	授業アンケート	
		総合ビジネス科の学習内容を出前授業や進路説明会等で説明する。地域活性化のために、独自の地域マップ作りを行う。	進路振り返りアンケート	
		地域の祭りや販売イベントに積極的に参加し、体験的な学びを経験し、その学習成果を学科発表会で発表し、意識を高める。	社会人招聘事業アンケート	
生活デザイン科	学科における専門性の向上と各コースにおける実践力の育成	科目における生徒の目指すべき資質・能力を明確にし、その育成のために授業改善を図る。	授業アンケート	
		家庭科技術検定コース別合格率90%以上を目指し、受検を通して社会で求められる資質・能力の育成を図る。	授業アンケート	
		3つのコースの特色化と外部講師を活用した専門性の向上を図り、卒業後も自らの力を発揮できる実践力を育成する。	社会人招聘事業アンケート	
	キャリア教育の推進と職業人としての資質の獲得	各学年に応じて進路目標の明確化を図り、体験活動やキャリア教育を推進し、生徒の勤労観・職業観を育成する。	進路振り返りアンケート	
		学科行事を通して、自他を認め、地域に貢献する志を持たせ、粘り強く学び続ける力を育成する。	未来を切り拓く人材育成アンケート	
		学科間連携科目「八女茶探究」において、学科の特徴を生かして多様な学びの場の設定と学習活動の充実を図る。	未来を切り拓く人材育成アンケート	
	地域社会への貢献と広報活動・生徒募集の強化	地域行事や地域交流の在り方を検討し、地域の外部機関との連携を強化して、生徒の主体性を向上させる活動を実践する。	未来を切り拓く人材育成アンケート	
		生活デザイン科新聞やHP更新など広報活動を積極的に行い、学科の学習活動や生徒の活躍する姿を幅広く発信する。	振り返りアンケート	
		学科の特色を活かした3つのコースのカリキュラム・進路実績を明確に発信し、生徒募集を広域かつ積極的に実施する。	振り返りアンケート	